



2023年1月31日

各 位

会社名 株式会社三ツ知
代表者名 代表取締役 中村 和志
(コード:3439 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取締役総務部長 村越 康幸
(電 話 0568-35-6350)

2023年6月期第2四半期の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年7月29日付当社「2022年6月期 決算短信[日本基準](連結)」において発表いたしました2023年6月期第2四半期(2022年7月1日~2022年12月31日)の連結の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想と実績値との差異について

2023年6月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異(2022年7月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,947	百万円 153	百万円 147	百万円 106	円 銭 21.03
今回実績値(B)	6,328	△22	45	△96	△19.06
増減額(B-A)	△619	△175	△102	△202	
増減率(%)	△8.9	—	—	—	
(ご参考)前年同四半期実績 (2022年6月期第2四半期)	6,126	244	298	228	45.12

(注) 2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前年同四半期実績については前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

連結業績予想と実績値との差異の理由

売上高につきましては、国内と米国において受注が当初予定を下回る中、コスト面では原材料や副資材の高騰の影響が当初の見通しを上回っております。グループ全社をあげて費用抑制の徹底を図っているものの、コスト上昇に対する販売価格への転嫁が遅れており、当期の営業利益、経常利益は当初の想定を下回る見込みであります。また、当社の連結子会社である(株)三ツ知部品工業は人件費の割合が高い部品組付け事業を行っていますが、得意先の減産影響による受注低迷と増産への対応に備えた労働力確保によるコスト高止まりなどにより2期連続での営業損失の見通しとなり、固定資産に係る今後の回収可能性を慎重に検討した結果、(株)三ツ知部品工業に係る固定資産の減損損失として58百万円を計上しました。併せて、長期繰延税金資産36百万円を取り崩し法人税等調整額に36百万円計上したことなどにより親会社株主に帰属する四半期純利益は当初想定を更に下回る結果となりました。

以 上